国語科学習指導案

三次市立十日市中学校

Ａグループ

安芸太田町立安芸太田中学校

北広島町立豊平中学校

三次市立川地中学校

三次市立十日市中学校

庄原市立庄原中学校

１　日　　　時　　　令和３年10月14日（木）

２　学年・学級　　　第２学年１組　36名（男子20名　女子16名）

３　単　元　名　　　読みを深め合う「大阿蘇」「小さな手袋」

４　単元について

（１）単元観

本単元は，中学校学習指導要領の第２学年C読むこと（１）エ「観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考えること。」を受けて設定したものである。本教材「大阿蘇」は，三省堂書店の教科書で扱われる詩のなかでも貴重な，叙景を中心とした詩であり，自然の雄大さや永続性を，生物の営みのささやかさや有限性と対比してうたった三好達治の作品である。豊かな自然の風景の描写を中心とした詩の中に「もしもこの百年がこの一瞬の間にたったとしても何の不思議もないだろう」という作者の心情が明示してあり，情景を手掛かりに筆者の心情に迫るという「読みの観点」を生徒に身に付けさせるのに適した教材である。

（２）生徒観

本学年の生徒はこれまで詩の学習としては，「てがみ（寺山修司）」「太陽（八木重吉）」「魚と空（木坂涼）」「竹（萩原朔太郎）」の詩を一年生の時に，「名づけられた葉（新川和江）」を二年生で読んでいる。その際，表現や表記の特徴に着目し，その効果を考えたり，象徴的な表現の内容を捉えたりするという読みの学習をした。

　昨年度実施した三次市標準学力調査における文学的文章の正答率は，「文章の表現の特徴を捉えることができる」ことを主旨とした問題で74.2％であったのに対し，「文章の表現に着目して読み，登場人物の心情を捉えることができる」ことを主旨とした問題では51.5%であった。

（３）指導観

指導にあたっては，文章中の表現に着目して読みを深めるとともに，効果的な文章表現技術に気付かせ，自ら豊かに表現しようとする力を育成するため，「１　詩を読む観点を明確にする」「２　他の詩と比較し，表現やその効果について自分の考えをもつ」「３　身に付けた読みの観点を生かし，文学的な文章の他のジャンルの作品を読む」の三点を軸に展開する。また，本単元では，「作品を比較し，それぞれの特徴から表現の効果について説明する」ことを言語活動として設定する。その理由は次の３点である。

①詩の特徴として，ことばを厳選し構成を練って効果的な表現が用いられていることが挙げられ　　　る。詩の読みに必要な観点を示し，それを手掛かりに情景を読み取り，作者の思いに迫っていく。同じ題材で他の詩と比較読みをすることにより，ことば・表現・展開の違いやその効果について気付くことが出来るため，目標の達成に有効であると考える。また，同じ観点で複数の作品を読む練習に繋げたり，文学的な文章の他のジャンルの読みに生かすことで観点の汎用性を実感できたりと，多様な文学作品の読書活動に繋げることができると考える。

②小説に比べ，情報が少ないことから，解釈には読み手の人生経験や知識，価値観が表れ，多様　　　で個性的な読みが生まれることが考えられる。そのため，ある程度焦点化できるような手立てが必要であるところから，同じ題材をもつ他の作品と比較させる。同じ観点で分析・考察することで学習の焦点化ができるとともに，表現とその効果についての考えを深めることができると考える。比較させたい作品は，「大阿蘇（三好達治）」と「馬でかければ‐阿蘇草千里（みずかみかずよ）」である。

③文学的な文章の他のジャンルの表現を分析・解釈する際に，詩で用いた読みの観点を生かせるよう，詩の学習後，小説を読み，どのような表現に着目すれば読みを深めることができるのかを生徒に考えさせる。小説における表現とその効果を考える際に，詩と同じように考えられる部分があること，また逆に，それだけでは捉えきれない表現の工夫もあることに気付かせることができると考える。その際は，読みにかかわるキーワードとなる「アイテム」を捉えやすい「小さな手袋（内海隆一郎）と「盆土産（三浦哲郎）」「空中ブランコ乗りのキキ（別役実）」「蜜柑（芥川龍之介）」から，生徒に表現を分析したい作品を選ばせ，記述させることとする。

５　単元の目標

（１）抽象的な概念を表す語句の知識を増すとともに，類義語と対義語，同音異義語や多義的な意味を

　　　表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　「知識及び技能」（１）エ

（２）観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や論理の展開，表現の効果について考える

ことができる。　　　　　　　　　　　　　　　　「思考力，判断力，表現力等」Ｃ（１）エ

（３）言葉がもつ価値を認識するとともに，読書を生活に役立て，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとしている。　　　　　　　　　　　「学びに向かう力，人間性等」

６　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 作品を比較し，作品における効果的な象徴表現を捉え，説明する活動 | | |
| ①抽象的な概念を表す語句の知識を増やすとともに，多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。  　　（（１）エ） | ①「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や表現の効果について考えている。  （Ｃ（１）エ） | ①進んで表現の効果について考えたり，詩や文章の特徴を読み取ったりし，学習課題に沿って考えたことを表現しようとしている。 |

７　指導と評価の計画（全７時間）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 学習内容（時数） | 知・技 | 思・判・表 | 態度 | 評価規準 | 評価方法 |
| １ | ○「大阿蘇」を読み，初読の感想を交流する。  ○詩を読む観点をもとに内容を整理する。  〇筆者の心情を表す一行を捉える。（１） | 〇 |  |  | 抽象的な概念を表す語句の知識を増やすとともに，多義的な意味を表す語句などについて理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 | 教科書へのメモ  ノート |
| 〇観点に沿って「馬でかければ」と「大阿蘇」を比較する。  〇比較を通して，「大阿蘇」における象徴表現と筆者の心情を捉える。（１） |  | ○ |  | 「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし,文章の構成や表現の効果について考えている。 | ノート  行動観察 |
| ２ | ○「小さな手袋」を読み，初読の感想を交流する。　文中から，「重要アイテムベスト３」を予想する。（１） |  |  | 〇 | 学習課題に沿って進んで  表現の効果について考え  たり，詩や文章の特徴を読  み取ったりし，考えたこと  を表現しようとしている。 | ノート |
| ○「シホ」と「おばあさん」の人物像や二人の関係を，場面ごとに捉える。（２） |  | 〇 |  | 「読むこと」において，観  点を明確にして文章を比  較するなどし,文章の構成  や表現の効果について考  えている。 | ノート |
| ○描写を根拠に「自分が選ぶ重要アイテムベスト３」を決める。  〇着目したアイテムから何が読み取れるかについて考え，説明する。  （１）【本時】 |  | 〇 |  | 「読むこと」において，観  点を明確にして文章を比  較するなどし,文章の構成  や表現の効果について考  えている。 | ワークシート |
| ○単元の振り返りをする。（１） |  |  | 〇 | 学習課題に沿って進んで  表現の効果について考え  たり，詩や文章の特徴を読  み取ったりし，考えたこと  を表現しようとしている。 | 振り返りシート |

８　本時の展開

（１）本時の目標

「自分が選ぶ重要アイテム　ベスト３」を決めよう。

（２）観点別評価規準

「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や表現の効果について考えている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〔思考・判断・表現〕Ｃ（１）エ

（３）準備物

　　　教科書・ノート・付箋・交流シート

（４）学習の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意事項（○）  「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て（●） | 評価規準  （評価方法） |
| 導　入 | １　課題意識をもつ。  　・作品を読み進めてきた上で，初めに予想した「重要アイテム　ベスト３」を検証することを確認する。  ２　本時のめあてを確認する。 | ○初読の際の予想を各自で検証することを伝え，課題意識をもたせる。  めあて：「自分が選ぶ重要アイテム　ベスト３」を決めよう |  |
| 展　　開 | ３　「重要アイテム」の３つを再検討する。  ＜予想される生徒の反応＞  ・雑木林…シホとおばあさんが出会う場所だから。「空中ブランコ乗りのキキ」でも，波  止場でのおばあさんとの会話がキキの変化につながっている。  ・毛糸人形…シホとおばあさんの仲をつないだものだから。「空中ブランコ乗りのキキ」  でも，「青い水の入った小瓶」が，キキとおばあさんをつないでいて，その  後の展開につながっている。  ・ショール…シホとおばあさんの関係を示すものだから。この作品の温かい雰囲気を感じさ  せるから。「空中ブランコ乗りのキキ」では，「四回宙返り」がキキとピピのラ  イバル関係を表している。「盆土産」では，喜作が来ているＴシャツや，父の  ハンチングに都会の雰囲気が表れている。  ・大連…おばあさんの思い出の場所だから。最後に繰り返し出てくるから。「盆土産」でも，  故郷が家族をつなぐ大切な場所である。「空中ブランコ乗りのキキ」では「白い鳥」  が繰り返し出てくる。  ・小さな手袋…おばあさんの思いが詰まっていて，題名にもなっているから。「盆土産」で  は「えびフライ」に父の家族に対する思いが詰まっている。「蜜柑」では姉の，弟たちに対する思いが詰まっている。いずれも題名につながっている。  ４　グループで，考えを交流する。  ５　「自分が選ぶ重要アイテム　ベスト３」を決める。 | ○初読の際の予想と，作品を読み進めてきた今の考えを個人で検討する。  〇そのアイテムを選んだ理由を書かせる。その際，他作品との比較を通して，そのアイテムに込められている意味や効果等について言及させる。  ●「大阿蘇」で重要と考えたアイテムを思い起こさせる。  〇これまで読んできたことや他作品との関連をもとに交流させる。  ○交流を受けて，自分の考えを固める。  ○最終的な自分の考えを表現させ，単元のまとめとする。  ●考えをワークシートに書き出させる。考えの変化や理由等が見えるワークシートを活用する。  ＜予想される生徒の反応＞  　「９　使用するワークシート」に記す。 | 「読むこと」において，観点を明確にして文章を比較するなどし，文章の構成や表現の効果について考えている。（ワークシート） |
| まとめ | ６　本時のまとめをする。 | ○数名に考えを発表させる。  ○次時では単元の振り返りをすること  を伝える。 |  |

９　【本時】で使用するワークシート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | アイテム |
|  |  |  | 理由 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | アイテム |
|  |  |  | 理由 |

○初読のときに予想した重要アイテム

○「自分が選ぶ重要アイテム　ベスト３」はこれだ！

○考えに変化が（あった　・　なかった）

○変化の理由

○特に着目したいアイテムの意味や効果を他作品と関連

させながら考えてみよう。

（選んだ作品　「　　　　　　　　」）

　＜予想される生徒の反応＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 小さな手袋 | お菓子 | 雑木林 | アイテム |
| 題名になっているから。 | お母さんが一生懸命作ったから。 | シホとおばあさんが出会う場所だから。 | 理由 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 小さな手袋 | ショール | 雑木林 | アイテム |
| おばあさんの思いが詰まっているから。 | 二人の関係や作品の雰囲気につながる。 | この文章の舞台となる場所だから。 | 理由 |

○初読のときに予想した重要アイテム

○「自分が選ぶ重要アイテム　ベスト３」はこれだ！

○考えに変化が（あった　・　なかった）

○変化の理由

お菓子も重要だと思うけれど、この作品はシホとおばあさんを軸に展開するから、二人の関係を示す「ショール」に変えました。特に「小さな手袋」は題名になっているので、やはり重要だと思います。

○特に着目したいアイテムの意味や効果を他作品と関連させながら考えてみよう。（選んだ作品　「盆土産」）

「盆土産」の家族の故郷や、お父さんを思いながら雑魚を

釣る川が重要な舞台で、「雑木林」と似ていると思います。

どちらも登場人物をつなぐ役割や温かい雰囲気を出す効果があると考えます。

ワークシート内　**「特に着目したいアイテムの意味や効果を他作品と比較しながら考える」**

Ｂ評価の条件

〇　登場人物の**置かれた状況を把握**し，その**心情について本文を引用しながら説明している**。

〇　本文中の**どのアイテムに着目したか**と**着目した理由**について説明している。

〇　本文中の**「アイテム」が作品にもたらす効果**について説明している。

Ｂ評価の例

比較対象作品『蜜柑』

**特に着目したいアイテムは，「小さな手袋」です。着目した理由は，題名にもなっており，そこには作者の強い思いが込められていると感じたからです。『蜜柑』でも作品中に登場する「蜜柑」が題名になっていて，共通しています**。**着目して読むと，どちらも最後の場面に登場しています。**

**『小さな手袋』では，主人公であるシホがおばあさんのもとを久しぶりに訪れる場面に注目アイテムは登場します。祖父の死からおばあさんと会うことのなかったシホが，「不自由な手で，一か月半」もかかって編んだ「小さな手袋」をもらったことで，おばあさんが自分のことを待ち続け，そしてどれだけ好きでいてくれていたのかに気付きます。**

**『蜜柑』では，奉公に向かう姉を三人の弟たちが見送る場面に注目アイテムが登場します。姉の，「窓から首をのばして，闇を吹風に銀杏返しの鬢の毛を戦がせながらぢつと記者の進む方向を見やつてゐる。」のところや「小娘は，その懐に蔵してゐた幾顆の蜜柑を窓から投げて，わざわざ踏切まで見送りに来た弟たちの労に報いたのである。」のところから，二度と会えないかもしれない弟を目に焼き付けておきたいという思いや，一生懸命に手を振る弟たちとの別れを惜しむ気持ちや元気でいてほしいと願う気持ちが伝わってきます。**

**「おばあさん」も「姉」も具体的に言葉では言い表していませんが，どちらもあふれんばかりの相手を思う気持ちからの行動であり，その思いが込められたアイテムだと言えます。また，そのアイテムが登場する場面で，主人公である「シホ」と「私」の考え方も変化**しており，作品における重要なアイテムだと思います。

比較対象作品『盆土産』

**特に注目したいアイテムは，「小さな手袋」では，題名にもなっている「小さな手袋」，「盆土産」では「えびフライ」です。ここに注目したのは，どちらも「愛情がこもっているもの」という点で共通しているからです。また「盆土産」では，物語の冒頭にいきなり登場し，作品を通してずっと出てくるアイテムであり，題名である「盆土産」も作品を読んでいくうちに「えびフライ」だと読み取れます。**

**「小さな手袋」は，シホがおばあさんのもとを久しぶりに訪れた際，二年半前におばあさんがシホのためにつくったクリスマスプレゼントとして受け取る場面に登場します。祖父の死のショックからおばあさんと会わなくなってしまったシホが，おばあさんから「不自由な手で，一か月半」もかかって編んだ「小さな手袋」をもらったことで，おばあさんが自分のことを待ち続け，どれだけ自分のことを想っていてくれていたのかに気付きます。**

**「盆土産」では，働きに出ている父が盆に帰ってきた際の土産として主人公が受け取る場面に「えびフライ」が登場します。「えびフライ」を見た僕は，「ただこの六尾のえびだけのために，一晩中，眠りを寸断して冷やし続けて帰ってきたのだ」と思い，父の家族への思いに気付きます。また，父の家族においしいものを食べてほしいという思いが伝わってきます。さらに，「えびフライ」は，主人公たちが母や祖父の墓参りへ行く場面で，「祖母の『なまん，だあうち』の合間に，ふと，『えんびフライ……』という言葉が混じるのを聞いた」という描写があり，祖母が「えんびフライ」という言葉で家族の団欒の風景を亡くなった母たちに報告していることが読み取れ，家族をつなぐものであると考えられます。**

**直接的には表現されていませんが，相手のことを思いながら作ったり運んだりしていることから，相手への愛情がつまったアイテムだと言えるとともに，作品中における重要なアイテムだと考えます。**

比較対象作品『空中ブランコ乗りのキキ』

**特に着目したいアイテムは，「小さな手袋」と「澄んだ青い水の入った小瓶」です。「おばあさん」は，脇役として登場し，主人公とかかわる存在として両作品に共通して登場してきますが，どちらのおばあさんも主人公に影響を与える存在という理由からおばあさんに関係するアイテムに着目しました。**

**「小さな手袋」では，主人公のシホと雑木林で出会い，一緒に過ごしたり，毛糸の人形を渡したりすることで仲を深めていく存在としておばあさんが登場します。仲を深めていきますが，シホの祖父が亡くなってしまってからおばあさんとも会うことがなくなっていまいます。しかし，シホが熱を出したことがきっかけで病院を訪れた際，おばあさんが「不自由な手で，一か月半」もかかって編んだ「小さな手袋」をもらったことで，おばあさんがいつまでも自分のことを待ち続け，そしてどれだけ会いたいと思っていてくれていたのかに気付きます。**

**「空中ブランコ乗りのキキ」では，４回宙返りにこだわるもできずに焦っている主人公キキの前におばあさんが登場します。おばあさんの，「おまえさんの三回宙返りの人気も，今夜限りさ……。」や「お客さんは，それじゃ練習さえすれば，誰にでもできるんじゃないかな，って考え始めるよ。」という発言は，キキにさらなる焦りを感じさせ，４回宙返りへの意識を強くさせたと考えます。また，おばあさんがキキに渡した「澄んだ青い水の入った小瓶」は，高貴で清らかなイメージもありますが，同時に怪しさや冷酷さを感じさせるものでもあり，おばあさんの存在がキキを死に導くことを連想させるものだと感じました。**

**シホには，人とのつながりのあたたかさを教えたアイテムという点と，キキには４回宙返りを決断させ死へ導いてしまうアイテムという点で違いはありますが，どちらも主人公のものの考え方に対して大きな影響を与えたという点では，重要なアイテムであると思います。**